

# I 自然環境

## Natürliche Umweltbedingungen

藤沢市の植生は、気候、地形、地質、土壌などの自然環境により自然植生の生育が異なる。さらに人為的影響によって様々な代償植生が発達している。

### 1. 気 候

藤沢市は相模湾の中央に位置し、海洋性気候下の、気候の条件の大きな変化がない地域である。年間平均気温は、隣接する茅ヶ崎市、鎌倉市の例から、それぞれ15.1°C、15.9°Cと、西部が暖たかくなっている。1月の最低気温の分布は藤沢市、茅ヶ崎市が-1°C以上で、周辺部はさらに低い地域となっており、年間を通じ住みやすいことがFig.1より示される。降水量は、年間降水量1750mm以上で、太平洋型気候を示している。

### 2. 地 形

藤沢市北部は関東ロームを主とした台地が連なっている。南部は境川の沖積地、古砂丘地帯は、人為的影響によるならしで、平坦地となっている。南部の平坦地は厚木から南に広がる沖積平野の一部で相模平野と呼ばれている。

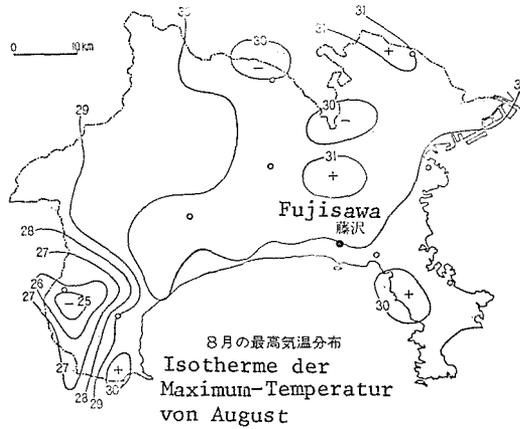
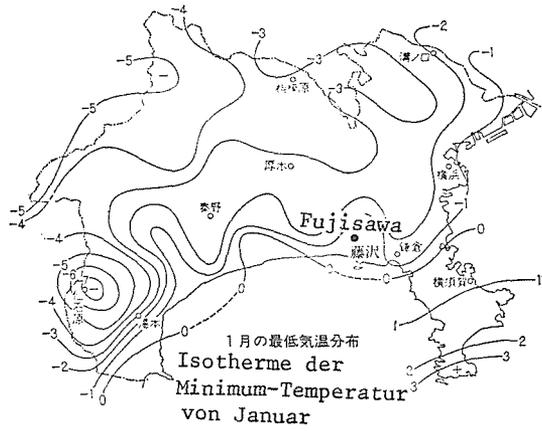
藤沢市の砂丘地帯は、湘南砂丘地帯と呼ばれ、西は平塚にかけて、東は鎌倉まで続いている。後背地にはかつて古砂丘地帯が数列並んでいたが、宅地化により平坦地となっている。

北部台地は相模台地と呼ばれ、沖積地より一段高く、洪積層よりなる洪積台地である。南部の鎌倉よりつづく片瀬丘陵の新林が藤沢市ではもっとも高く海拔67.3mを示している。

### 3. 地質・土壌

藤沢市南部の湘南砂丘より、境川、引地川、目久尻川下流は、主として砂を中心とした沖積層、上流部は泥土を主とした沖積低地層が基盤となっている。南部丘陵地より、江の島は、逗子シルト岩層や江の島凝灰岩質層を基盤として、砂層、礫層が堆積している。さらに一部ローム層が堆積し江の島では、海からの影響による空中湿度の高さにより、イノデタブノキ群集の発達をうながしている。

北部台地には多摩ローム層と下末吉ローム層が分布しており、台地面の段丘堆積物面がみられる地域まではイノデタブノキ群集の残存林が、さらに台地肩部にヤブコウジースタジイ群集の残存林が多くみられる。下末吉層基盤地では、スタジイが多くみられるが、多摩ローム層基盤地ではシラカシが多くみられる現象がある。境川、引地川、目久尻川の泥を主とした沖積層は台地を深く切りこみ、現在水田耕作地として利用されている。



神奈川県における1月の最低気温(°C)と8月の最高気温(°C)の分布  
Minimum und Maximum Klima-  
Verhältnisse der Präfektur Kanagawa

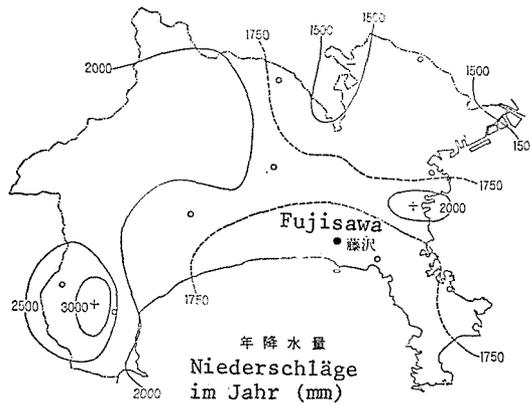


Fig. 1 神奈川県における年降水量と気温分布  
Verteilung der Niederschläge im Jahr (mm) u. Temperatur (°C) in der Präfektur Kanagawa.

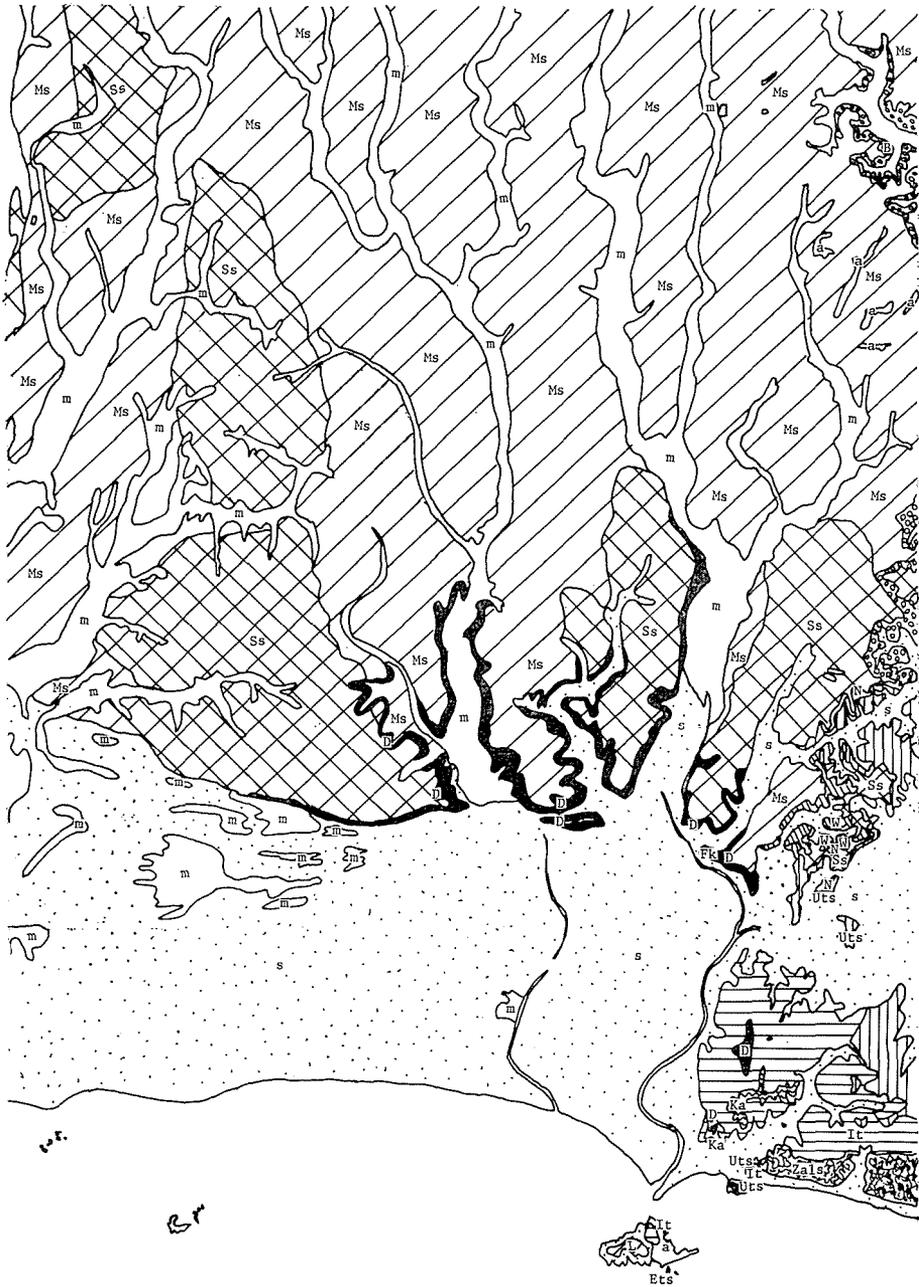


Fig. 2 藤沢市および周辺地質図 (三上他 1983)

Geologische Karte der Stadt Fujisawa u. der Nachbarn-Städten (von Mikami u. a. 1983)

## 凡 例 Legende

## 第 4 紀

## 沖積層

m = 主として泥

S = 主として砂

## 後期更新世

Ms = 多摩ローム

Ss = 下末吉ローム

L = 未区分ローム

D = 段丘堆積物

Ka = 片瀬層

Ki = 吉沢層

W = 渡内層

S = 下末吉層

## 中期更新世

N = 長沼層

## 第 3 紀

## 新鮮世

It = 池子層

(凝灰岩砂質泥岩互層)

Is = 池子層 (凝灰質砂岩)

Om = 大船層

Nism = 野島層

(凝灰質砂質泥岩)

Uts = 浦郷層・

深沢凝灰質粗粘砂岩層

## 後期中新世

逗子層・三崎層

Zalm = 砂岩・泥岩互層(泥がち)

Xals = 砂岩泥岩互層(砂がち)

## Quaternary

## Alluvial deposits

Mud

Sand

## Late Pleistocene

Tama Loam

Shimosueyoshi Loam

Undivided Loam

Terrace deposits

Katase Formation

Kissawa Formation

Watauchi Formation

Shimosueyoshi Formation

## Middle Pleistocene

Naganuma Formation

## Tertiary

## Pliocene

Ikego Formation

(Alternation of tuff and sandy mudstone)

Ikego Formation (Tuffaceous sandstone)

Ofuna Formation

Nojima Formation.

(Tuffaceous and sandy mudstone)

Urago Formation.

Fukasawa Tuffaceous Sandstone

## Late Miocene

Zushi Formation・Misaki Formation

Alternation of sandstone and mudstone

Alternation of sandstone and mudstone